

難治性ネフローゼ症候群に対して NSAIDs を 用いて Medical Nephrectomy を行った 1 例

ふく なが しょう へい¹⁾ いわ した ゆう は せ が わ し ほ
福 永 昇 平¹⁾ 岩 下 裕¹⁾ 長谷川 志 帆¹⁾
はな だ ま き¹⁾ はな だ けん い とう たか ふみ¹⁾
花 田 真 希¹⁾ 花 田 健¹⁾ 伊 藤 孝 史¹⁾
しい な ひろ あき²⁾ た なべ かず あき¹⁾
椎 名 浩 昭²⁾ 田 邊 一 明¹⁾

キーワード：Medical Nephrectomy, ネフローゼ症候群, NSAIDs

要 旨

難治性ネフローゼ症候群に対しては、種々の治療法が行われるが、難渋することが多い。今回 NSAIDs を用いて Medical Nephrectomy を行った症例を経験したので報告する。

症例は82歳男性。2013年5月17日著明な胸水、腹水、全身浮腫のため、当科紹介入院した。尿蛋白6.2 g/day, Alb 1.0 g/dL でありネフローゼ症候群と診断した。全身状態悪く腎生検施行できなかったが、PSL 40 mg/day で投与開始した。尿蛋白改善なく、LDL アフェレシス施行したが効果はなかった。循環動態不安定であるため血液透析施行は不可能であった。トルバプタン投与開始したが、紅斑出現したため中止した。種々の治療抵抗性であるため、尿量減少目的にジクロフェナク内服による Medical Nephrectomy を行った。徐々に腎機能低下し、尿量が減少した。循環動態が安定したため、6月17日より血液透析導入した。その後は比較的安定して血液透析が行えていたが、7月3日急変し永眠された。

難治性ネフローゼ症候群に対して、種々の治療を行ったにもかかわらず効果がない場合には、尿量減少および腎機能廃絶を目的として比較的副作用の少ない血液透析が行われることが多い。本症例では循環動態不安定であり血液透析が施行できなかったため、NSAIDs による Medical Nephrectomy を施行し、副作用なく尿量減少を得ることができた。

血液透析による Medical Nephrectomy が困難である場合、NSAIDs を用いても十分な効果が得られることが示唆される。

緒 言

Shohei FUKUNAGA et al.

1) 島根大学医学部附属病院循環器・腎臓内科

2) 同 血液浄化治療部

連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

難治性ネフローゼ症候群に対しては、種々の治療法が行われるが、難渋することが多い。今回